



特集 防災から減災へ

東日本大震災の衝撃

国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した東北・関東地方の大地震では、大きな揺れのほか、波高10メートル以上を記録した巨大津波が発生し、大きな被害をもたらしました。今後も大きな余震の発生が想定されるなど、予断を許さない状況が続いております。

宮崎県の状況

宮崎県においても、津波等の被害が予想される東南海・南海地震や日向灘沖地震などの発生する可能性が、今後30年以内において高い確率で予想されています。

新富町の現況と対策

新富町は、地形的に富田浜の海岸線や一ツ瀬川を抱えており、津波による被害を受ける可能性の高い地域です。

町では、津波対策に関して次のような取り組みを進めてまいります。

- 各避難所の海拔と海岸線からの距離の揭示
- 災害時情報伝達訓練の実施
- 避難ルートの確認、周知
- 津波被害を想定した新たな防災計画の策定

このほかにも、さまざまな面から防災対策の見直しを進めていきます。

自分の命は自分で守る

今回の巨大津波は、これまで考えられていた防波堤などによる物理的な対応策では、被害を防ぐことが困難であることが証明されました。

津波が上陸するまでの短い時間、とにかく早く逃げるのが求められます。どのようにしたら津波の被害から逃れ、身の安全を確保できるのか、日頃から自分の命は自分で守る「自助」について、意識しておくことが重要です。

緊急情報を得る手段や避難ルート、家族と避難後に合流する方法の確認など、日常の何気ない会話の中でも意識付けをすることで、実際の行動がとりやすくなります。

普段からの危機管理意識を高め「減災」へ努めていきましょう。

【問合せ】
防災基地対策課 3316027



総合防災訓練の様子